

## 見守り 新鮮情報



©Kurosaki Gen

新聞広告を見て、自宅の横の**除排雪**と車庫の屋根の**雪下ろし**を頼んだ。家と車庫の屋根を見に来た担当者に「**全部で約7万円**」と言われ、了承して作業を依頼した。翌日、重機と排雪用のトラックが来て作業が始まり、2日間かかった。作業終了の翌日、電話で「**請求は約12万円**」と言われた。**最初の額と違う**。高額で納得できない。（70歳代）

# 除雪・排雪サービス 料金や作業内容を 事前によく確認!

## ひとこと助言

見積もり時に  
細かくチェック!



見守るくん

- 除雪・排雪サービスの見積もりを取る際は、「雪下ろし」「除雪」「排雪」等の具体的な作業内容、料金体系、重機が入るかなど別料金の発生の有無や、作業が完了できなかった場合の対応、作業に伴い自宅設備が破損した場合の対応等について、しっかりと確認し書面でもらいましょう。
- 契約書や領収書は保管し、作業に来た日付等を記録しておきましょう。
- 事業者とやり取りする際や除排雪作業の際は、一人で対応せず、家族や周りの人に立ち会ってもらうことも大切です。
- 急に大雪が降っても慌てないように、あらかじめサービス内容や料金の情報を収集しておくとい良いでしょう。
- 困ったときは、お住まいの自治体の**消費生活センター**等にご相談ください（消費者ホットライン188）。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第500号（2024年12月5日）発行：独立行政法人国民生活センター

消費生活トラブルは、  
ひとりで悩まず、相談しよう!

消費者ホットライン  
188（いやや）

岩手県立県民生活センター【消費生活相談電話】019-624-2209  
平日9:00~17:30、土日10:00~16:00（年末年始・祝日休み）



# 見守り 新鮮情報



©Kurosaki Gen

## 少しずつ ゆっくりとかんで、 餅での窒息事故を防止!

### 事例1

自宅で餅を食べていたところ、のどに詰まらせた。苦しがつて数分で意識を失い、救急車を呼んだ。救急隊により餅は取り除かれたが、死亡した。(80歳代)

### 事例2

朝食に食べた餅がのどに詰まり、反応がなくなった。家族が救急車を呼び、口の中から餅を取り出した。救急隊が到着した時は、呼吸はできていたが異物が残っていたため取り除いた。病院に到着した時には意識が回復し、他に異常がないことが確認されたため、帰宅となった。(80歳代)

## ひとこと助言

周りの人も見守って!



見守るくん

高齢になると、かむ力や飲み込む力が弱くなるため、特に餅を食べる機会が増える年末年始は、以下の点に注意して窒息事故を防ぎましょう。

- 餅を食べやすい大きさに小さく切っておきましょう。
- あらかじめお茶や汁物を飲んでのどを潤しておきましょう。
- ゆっくりとよくかんで、唾液とよく混ぜ合わせてから飲み込みましょう。
- 高齢者と一緒に食事をする際は、少しずつ口に入れているか、しっかりかんでいるかなど食事の様子に注意を払い、見守りましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第501号(2024年12月12日)発行：独立行政法人国民生活センター

消費生活トラブルは、  
ひとりで悩まず、相談しよう!

消費者ホットライン  
188(いやや)

岩手県立県民生活センター【消費生活相談電話】019-624-2209  
平日9:00~17:30、土日10:00~16:00(年末年始・祝日休み)





# つけ爪用接着剤 による やけどに注意

## 事例 1

つけ爪用接着剤をデニム、机、じゅうたんにこぼした。熱いので驚いて見ると白煙が出てデニムが溶けており、太ももにやけどをしていた。また、机にこぼした接着剤をティッシュペーパーで拭き取ったところ白煙が出て指が熱くなった。じゅうたんは焼けた。太ももに水ぶくれができ、4回通院した。英語表示ばかりで使い方や注意事項がわからない。(当事者:10歳代)



©Kurosaki Gen

## 事例 2

つけ爪用接着剤を親指の爪につけた際、手のひら側に垂れ、ティッシュペーパーで拭き取ったところやけどをした。皮ふ科を受診したらⅡ度の熱傷で1カ月以上の通院が必要と診断された。商品の使用方法を熟読したが、使い方によってはやけどを起こすなどの注意表示はなかった。(当事者:10歳代)

## ひとことアドバイス

- シアノアクリレート系の物質が含まれる瞬間接着剤は、ティッシュペーパーや衣類など染み込みやすい繊維質のものに染み込んで表面積が拡大すると、急激な化学反応により発熱し、やけどをする場合があります。
- つけ爪用の接着剤にも同様の成分が使われているため、使用する際には、繊維質のものに染みこませないように注意しましょう。
- 誤って衣類に付着させた場合は、発熱しないよう大量の水をかけましょう。
- 手指など皮ふについた場合は、ティッシュペーパーなどで拭き取らず、40℃程度の湯の中でもむようにはがしましょう。家具等にこぼした場合は、ポリエチレン手袋をしたうえで布などで手早く拭き取りましょう。拭き取った布なども発熱のおそれがあるため取り扱いに注意しましょう。
- 使用前には商品の表示や取扱説明書を読み、ポリエチレン手袋を装着して扱きましょう。

さぼーとくん



発行：独立行政法人国民生活センター

本文イラスト：黒崎 玄

消費生活トラブルは、  
ひとりで悩まず、相談しよう！

消費者ホットライン  
188 (いやや)

岩手県立県民生活センター【消費生活相談電話】019-624-2209  
平日9:00~17:30、土日10:00~16:00 (年末年始・祝日休み)

